

さがみロボット産業特区地域活性化方針

〔平成 25 年 2 月 15 日〕
内閣総理大臣決定

1. 地域の活性化に関する目標及びその達成のために取り組むべき政策課題

(1) 総合特区により実現を図る目標

生活支援ロボットの実用化や普及を促進していくことにより、少子高齢化社会における介護や災害時の捜索・救助など、県民が直面する身体的・精神的負担等を軽減するとともに、生活支援ロボットの実用化を担う企業の集積を進め、実証環境の充実を図ることにより、産業面から県民のいのちを守り、県民生活の安全・安心の確保及び地域社会の活性化を図り、県民満足度を高めていくことを目標とする。

(2) 国と地方で共有する包括的・戦略的な政策課題

① 少子高齢化の進行により増加するニーズへの対応

全国を上回るペースで高齢化が進行する神奈川県においては、高齢者あるいはそれを支える層からの様々なニーズの発生・増加が緊急の課題であり、少子化も相まって、自力での行動が制約される高齢者へのサポート体制の確保・充実が必要である。

② 切迫する自然災害への対応

大規模自然災害発生後、最も緊急な課題は人命救助であるが、倒壊家屋の内部調査などマンパワーの投入だけでは解決困難な課題に対して、新たな解決策を早急に講じる必要がある。

2. 目標を達成するために指定地方公共団体が実施し又はその実施を促進しようとする事業に関する基本的事項

(1) 解決策

以下の取組を通じ、研究開発や実証実験に関する地域の資源を活かした「生活支援ロボット」の実用化による対応を図る。

① 研究開発・実証実験等の促進

生活支援ロボットの実用化を図るため、多様な実証実験を受け入れる実証実験フィールドを創出するとともに、区域内外の参加企業及びモニターを広く公募し、企業の研究開発や実証実験を促進する。また生活支援ロボットの実用化に係るニーズの把握を行い、事業化（関連製品の市場投入）や普及を促進するための環境整備を行うとともに、利用者を通じて再び新たなニーズの把握につなげることでイノベーションの好循環の実現を図る。

② 実証環境の充実に向けた関連産業の集積促進

生活支援ロボットの研究開発と併せ、産業集積の受け皿となる適地の創出を進め、生活支援ロボット関連産業の集積を促進することにより、実証環境の充実を図る。

(2) その他

上記に係る事業のうち、新たな規制の特例措置等に係るものについては、申請者からの提案をもとに国と地方の協議会における協議の議題とし、関係府省は、その協議の結果を踏まえ、関係機関と調整を図りながら、必要な措置を講ずるものとする。

3. その他必要な事項

特になし